

PRESS RELEASE

報道資料

セコム株式会社 コーポレート広報部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1 TEL.(03)5775-8210

2020年7月28日

セコム株式会社

－ 「女性の『安全・安心』に関する意識調査」 －
犯罪被害を経験した女性の6割が「何もできなかった」と回答
実際の被害は「痴漢」「ストーカー」「盗撮」が上位

セコム株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：尾関一郎）は、10代以上女性（12-19歳50名、20-29歳100名（うち大学生58名）、30-39歳50名の計200名）を対象に、「女性の『安全・安心』に関する意識調査」を実施しました。

ネット・SNSのトラブルや悪用に関する項目も設定し、身近な犯罪被害の原因になり得る、ネット環境への意識についても調査しました。

◆すべての調査結果は以下のURLからダウンロードしていただけます。ぜひ、ご活用ください。

URL：https://www.secom.co.jp/corporate/release/2020/pdf_DL/nr_20200728.pdf

調査結果の概要

- 約6割の女性が犯罪被害の不安を感じ、3割以上が実際に犯罪被害を経験。実際に被害にあったことは1位「痴漢」、2位「ストーカー」、3位「盗撮」。
- 犯罪被害にあった人の中では約6割が「何もできなかった」と回答。護身グッズや防犯グッズの使用はわずか3.9%に留まる。
- ネットやSNSのトラブルでは「SNS投稿での勝手な写真公開、タグ付け（62.5%）」「ネットストーカー（25.0%）」と、個人の特定に関する被害が上位に。
- ネットでのトラブルやSNS悪用の被害に合わないための対策は「PC、スマホにパスワードを設定（59.0%）」が最も多い結果に。一方、約2割は対策をしていないことが判明。
- 歩きスマホをする人は3年連続^{*}で75%を超える結果に。10代は82.0%、20代は83.0%が歩きスマホをすると回答。20代のうち大学生はわずかに高く86.2%となった。

※2018年においては「日本人の不安に関する意識調査」の同設問。

【調査概要】

- ・調査期間：2020年6月23日～24日
- ・対象：10代から30代の女性200名
（12-19歳50名、20-29歳100名（うち大学生58名）、30-39歳50名）
- ・方法：インターネットによるアンケート回答方式

本報道に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

セコム株式会社 コーポレート広報部 井踏、仁村

TEL：03-5775-8210 E-mail：press@secom.co.jp

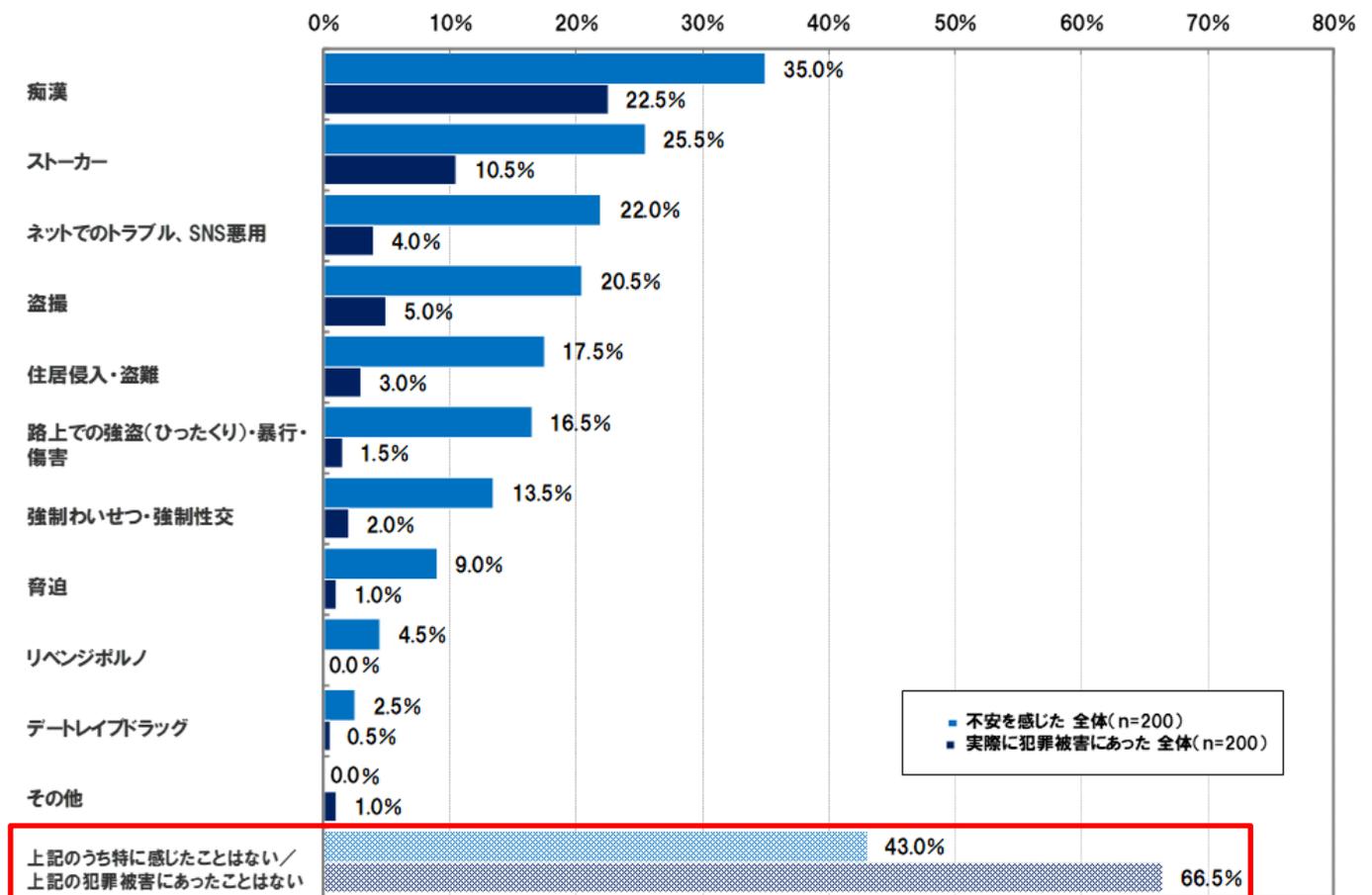
■ 「女性の『安全・安心』に関する意識調査」結果

約 6 割の女性が犯罪被害の不安を感じ、3 割以上が実際に犯罪被害を経験。
実際に被害にあったことは 1 位「痴漢」、2 位「ストーカー」、3 位「盗撮」。

女性が巻き込まれる犯罪被害に関して、不安を感じたこと、および、被害にあった経験【図 1】を聞いたところ、57.0%がこれまでに何らかの不安を感じており、33.5%が実際に被害にあった経験があることがわかりました。

具体的な内容は、1 位「痴漢（不安を感じた：35.0%、被害にあった：22.5%）」、2 位「ストーカー（不安を感じた：25.5%、被害にあった：10.5%）」、3 位は不安を感じたことでは「ネットでのトラブル、SNS 悪用（22.0%）」、実際に被害にあったことでは「盗撮（5.0%）」となりました。

図 1: 女性が巻き込まれる犯罪被害の不安および経験の有無(MA)

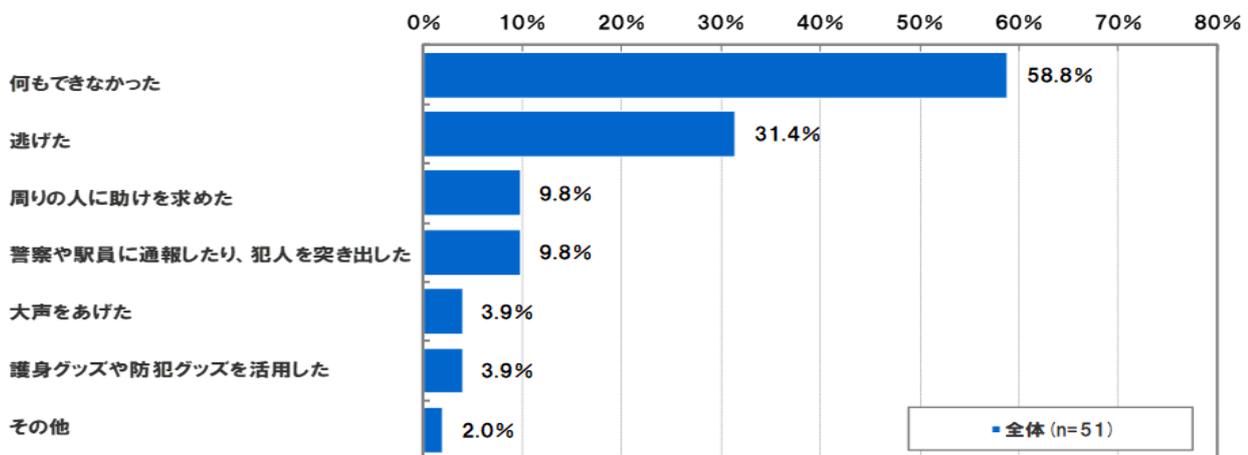


不安を感じた人は 57.0%
実際に犯罪被害にあった人は 33.5%

犯罪被害にあった人の中では約6割が「何もできなかった」と回答。護身グッズや防犯グッズの使用はわずか3.9%に留まる。

実際に犯罪被害にあった女性にどのような対応をしたか【図2】を聞いたところ、「何もできなかった(58.8%)」と回答した人が最も多く、昨年の49.0%より増加する結果となりました。「護身グッズや防犯グッズを活用した」と回答した人は3.9%と昨年の0.0%と比べるとわずかに増えたものの、女性の防犯対策として導入や活用が浸透していないことが明らかになりました。

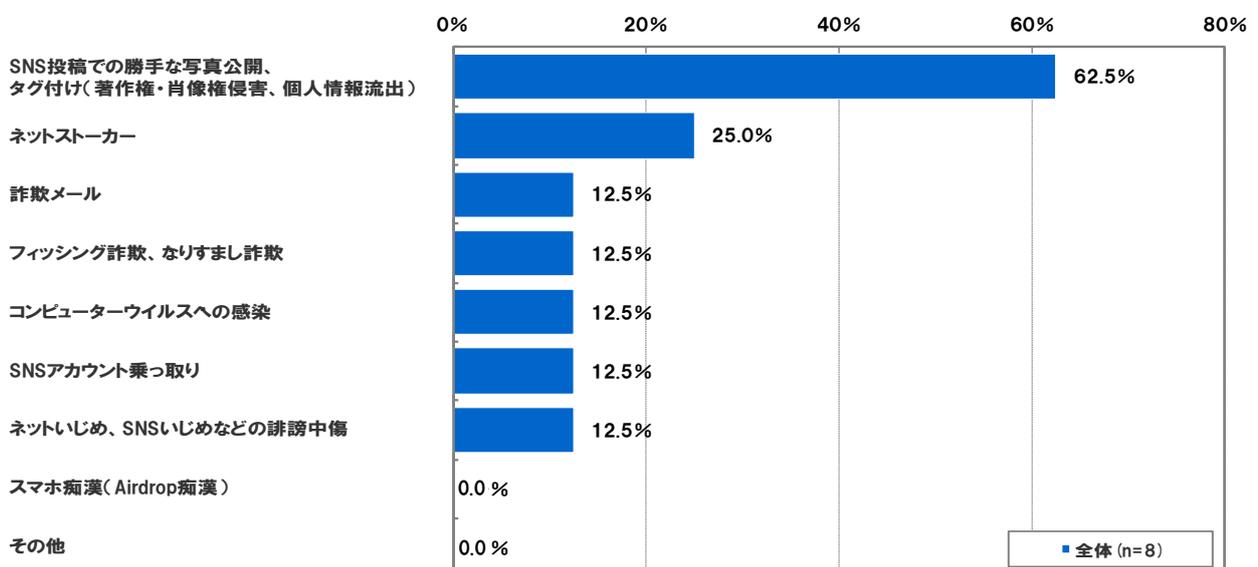
図2: 犯罪被害にあったときの対応(MA)



ネットや SNS のトラブルでは「SNS 投稿での勝手な写真公開、タグ付け (62.5%)」「ネットストーカー (25.0%)」と、個人の特定に関する被害が上位に。

ネットでのトラブルや SNS 悪用の被害にあった女性に、具体的にどのような被害を経験したか【図3】を聞いたところ、「SNS 投稿での勝手な写真公開、タグ付け (著作権・肖像権侵害・個人情報流出)」と回答した人が62.5%と最も多く、昨年の4位から大きく順位を上げました。次いで「ネットストーカー (25.0%)」が2位となり、SNS やネットにおける個人の特定に関するトラブルへの回答が上位となりました。

図3: 女性が経験したネットでのトラブルや SNS 悪用の被害(MA)

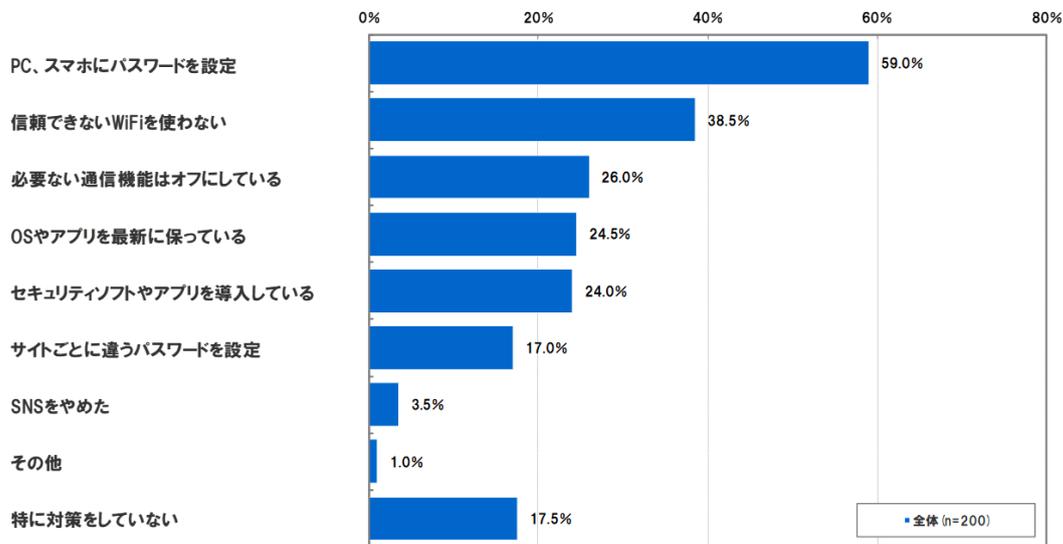


ネットでのトラブルや SNS 悪用の被害に合わないための対策は「PC、スマホにパスワードを設定 (59.0%)」が最も多い結果に。一方、約 2 割は対策をしていないことが判明。

ネットでのトラブルや SNS 悪用の被害対策【図 4】を聞いたところ、1 位「PC、スマホにパスワードを設定 (59.0%)」、2 位「信頼できない WiFi を使わない (38.5%)」、3 位「必要ない通信機能はオフにしている (26.0%)」となりました。第三者からの不正なアクセスや情報漏えいに対する警戒意識が高まっていることが見て取れます。

一方、17.5%の人が「特に対策をしていない」と回答し、対策が講じられていないことが判明しました。

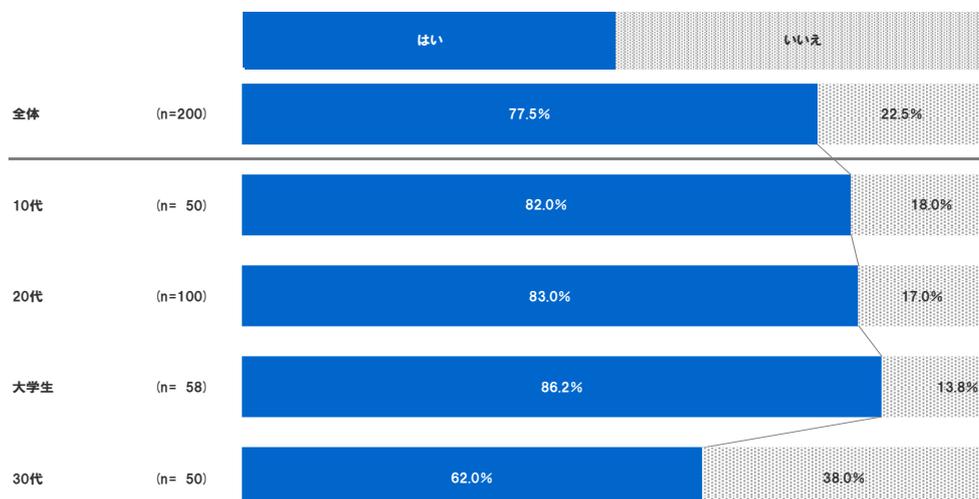
図 4: ネットでのトラブルや SNS 悪用の被害対策(MA)



歩きスマホをする人は 3 年連続で 75%を超える結果に。10 代は 82.0%、20 代は 83.0%が歩きスマホをすると回答。20 代のうち大学生はわずかに高く 86.2%となった。

歩きスマホをすることがあるか【図 5】を聞いたところ、「はい」と回答した人は全体で 77.5%でした。年代別でみると、10 代は 82.0%、20 代は 83.0%が歩きスマホをすると回答し、20 代の中でも大学生は 86.2%と歩きスマホをする人の割合がわずかに高い結果になりました。

図 5: 歩きスマホの有無(SA)



〈もしにも備える、セコムのおすすめサービス〉

① 「ココセコム」

GPS を使った位置情報提供システムです。大切な人や物の位置が確認できるほか、ボタンを押すだけで万一の時はセコムへ通報でき、要請に応じて警備員が駆け付けます。暗い夜道などで不安なときは自動通報機能「みつめてコール」をセットすると安全な場所までセコムが見守ります。

◆料金

基本料金：900 円／月（税別）～

加入料金：5,000 円（税別）

※別途、充電器代金、位置情報提供料金、現場急行料金が発生します。

>サービス詳細

<https://www.855756.com/>



「ココセコム」

② 「セコムあんしん宅配ボックス」

「セコム・ホームセキュリティ」と連携することができる宅配ボックスです（オプションサービス）。荷物が収納されるとお客様のスマートフォンなどにお知らせします。荷物保管中の不正な扉の開閉などをセンサーで監視し、異常があったときはセコムの警備員が駆け付けます。

◆料金

標準小売価格：105,700 円（税別）

※「セコム・ホームセキュリティ」ご契約先特別価格：83,500 円（税別）

工事料金：35,000 円（税別）

>サービス詳細

<https://www.secom.co.jp/homesecurity/goods/takuhaibox.html>



「セコムあんしん宅配ボックス」

③ 「女性のためのあんしんライフ navi」

「セコム・女性の安全委員会」による女性の防犯・防災対策情報サイトです。「安全のプロとしての視点」と「女性ならではの視点」で、防犯、防災、ネットセキュリティ対策を紹介し、女性の安全にかかわる啓発活動を行っています。

>ウェブサイト

<https://www.secom.co.jp/anshinnavi/>



女性の防犯・防災対策情報サイト
「女性のためのあんしんライフ navi」